

# ちゅーりっぷぐみだより

尚徳福祉会 日野保育園 2020年9月

9月に入っても、まだまだ暑い日が続いていますが、セミの声は小さくなり、夜は秋の虫の声が聞こえるようになってきましたね。熱中症対策やコロナ感染症予防対策で戸外遊びが難しくなり、室内で過ごす日が続いていますが、廊下や階段を使い、遊ぶ範囲を広げて活動を楽しめるようにしていこうと思います。引き続き、水分補給や室温の調節をこまめにしながら、元気に過ごしていきたいと思っています。



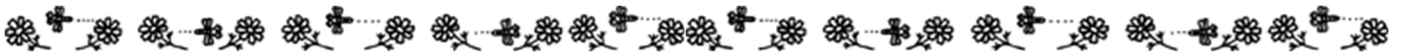
## つめたいね きもちいいね

テラスで水遊びの支度をしていると、戸を叩いて「はやくあそびたいよ」と嬉しそうな子どもたちです。最初の頃は片手でそっと水に触れたり、友達の様子をじっと見ていたりしていましたが、慣れてくると水面を勢いよく叩き、体に水が掛かっても気にせず夢中で遊び、真剣な表情でジョウロから出る水に手を伸ばして水の感触を楽しんでいました。



## さわってごらん

水遊びも慣れて、楽しく遊ぶようになった子どもたちに、保冷剤を布袋に入れて「さわってごらんつめたいよ」と渡すと、高月齢の子は頭に乘せたり頬につけたり、足の裏でも感触を楽しんでいます。お座りで遊んでいる友達にも持って行き、冷たさをおすそ分けしています。次回は小麦粉粘土やスライムを袋に入れて、その上を歩いたり寝っ転がったりして、全身で感覚遊びを楽しんでみようと思います。



## てをあらおう！ たべることってうれしいね

大好きな食事の時間になり、「てをあらいましょう」と声を掛けると水道へ集まります。高月齢の子はハンドソープをつけてもらおうと両手をこすり合わせて丁寧に洗う姿が見られます。低月齢の子たちも這い這いできて、嬉しそうに水を触ります。日々の習慣が身に付いてきたようです。ミルクを飲んでいる子も側に座って、食事をする雰囲気を楽しんでいます。さまざまな食材に触れ、味や香り、感触を通して多くの素材に慣れるように、たくさん食べて元気で大きくなりますようにと願う気持ちです。

